

長野県立美術館完成記念

未来につなぐ～新美術館でよみがえる世界の至宝

東京藝術大学スーパークローン文化財展

会期：2021年4月10日（土）－6月6日（日）

会場：長野県立美術館 展示室1・2・3



法隆寺「釈迦三尊像」復元（CG）

新県立美術館の完成にあたり、美術館という施設の本質に関わる、公開と保存・修復・復元をめぐるさまざまな問題について考える展覧会です。東京藝術大学は最新のデジタル技術を駆使し、文化財を「スーパークローン」として、周囲の環境までも含めて精密に復元する技術を確立しました。今回の展覧会では、バーミヤンやキジル、敦煌などの石窟寺院から法隆寺金堂の釈迦三尊像に至るまで、仏教東漸の跡を記す「スーパークローン文化財」を展示し、周囲の環境まで含めて展示することで、近年の地球温暖化による気候の急激な変化や地域紛争の激化により、存亡の危険にさらされている文化財の保護と公開の問題について、新たな視点から考える機会とします。

みどころ

東西文明の十字路として栄えたアフガニスタンのバーミヤンから、西域を経て、日本の法隆寺に至るまで、仏教東漸の跡を「スーパークローン文化財」総展示数 30 点で紹介します。

■法隆寺金堂の釈迦三尊像の復元（金色）を、長野県立美術館にて初公開！！

現存する世界最古の木造建造物である法隆寺金堂。現在では間近に見ることがむずかしくなった**金銅釈迦三尊像**を、3D技術を用いて**現状の再現**と**創建当時の復元**の2パターンで作成しました。また、火災によって損傷してしまった壁画も復元しています。（→広報用画像①、②）

■いまから 20 年前、ターリバーン政権により爆破された、バーミヤン東大仏の天井壁画を復元しました。（→広報用画像③）

■タジキスタン北西部で栄えたソグド都市ペンジケント。その遺跡から発掘されたソグド人の英雄叙事詩が表現された壁画を、3Dデータをもとに、表面の凹凸まで忠実に再現しました。（→広報用画像④）

■中央アジア地域で最大規模を誇るキジル石窟で、ドイツの探検隊が壁画を切り取って持ち帰り、ベルリン空襲で焼失した航海者窟壁画を、のこされた書籍『Alt-Kutscha（アルト・クチャ）』の図版から復元しました。（→広報用画像⑤）

■古来より中国と西域をつなぐシルクロードの要衝であった敦煌において、唐代最初期に開削された第 57 窟。法隆寺金堂壁画との共通性も指摘される精緻で華麗な画風を、窟内に設置された仏像と合わせて再現しました。（→広報用画像⑥、⑦）

■北朝鮮の世界遺産・高句麗古墳群の江西大墓の玄室壁面の花崗岩に描かれた四神図を、現地の調査で得られた色と質感の情報をもとに、これまでの模写や写真資料を用いて、原寸大の鮮明な画像で再現しました。（→広報用画像⑧）

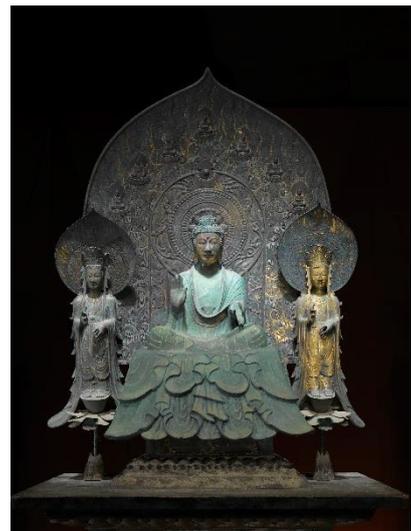
いずれも、社会情勢や自然環境の変化により、間近で実物を鑑賞することが困難になった文化財を、最新のデジタル技術に人間の手技や感性を取り入れ、素材・質感・技法と文化的背景や精神性などを、継承する手段として紹介します。

※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールまたはファックスにてお申し込みください。

広報用画像



①法隆寺釈迦三尊像復元



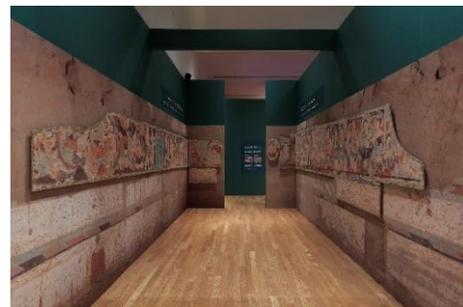
②法隆寺釈迦三尊像再現



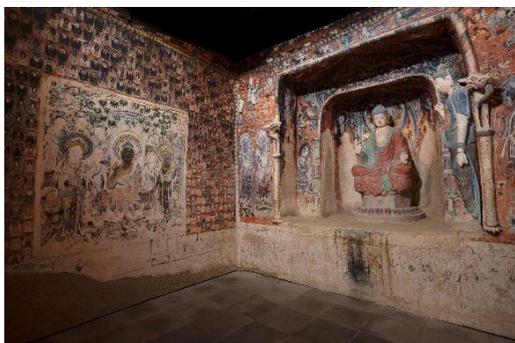
③バーミヤン東大仏天井壁画《天翔る太陽神》



④ペンジケント遺跡発掘区 VI 広間 1 壁画
《ハーブを奏でる女性像ほか》



⑤キジル石窟航海者窟第2 1 2 窟



⑥敦煌莫高窟第 57 窟



⑦敦煌莫高窟第 57 窟(部分)



⑧高句麗古墳群江西大墓《四神図》

広報用画像申込書

長野県立美術館完成記念

未来につなぐ～新美術館でよみがえる世界の至宝 東京藝術大学スーパークローン文化財展
会期：2021年4月10日（土）－6月6日（日）

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてお申し込みください。写真はデータにてお送りします。（下記以外の作品画像をご希望の場合はご相談ください。）

○をつけてください さい↓	番号	画像名
	1	法隆寺釈迦三尊像復元
	2	法隆寺釈迦三尊像再現
	3	バーミヤン東大仏天井壁画《天翔る太陽神》
	4	ペンジケント遺跡発掘区 VI 広間 1 壁画《ハーブを奏でる女性像ほか》
	5	キジル石窟航海者窟第 2 1 2 窟
	6	敦煌莫高窟第 57 窟
	7	敦煌莫高窟第 57 窟(部分)
	8	高句麗古墳群江西大墓《四神図》

● 貴社についてお知らせください

貴社名 _____ / 媒体名（雑誌、番組名等）

ご担当者名 _____ / 所属部署

ご住所 〒 _____

電 話 _____ / FAX

E-mail _____

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 月 日（ ） に発行、または放映予定

※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

お問い合わせ・資料リクエスト先

長野県信濃美術館（長野県立美術館）広報・マーケティング室

TEL：026-232-0052 / FAX：026-232-0050 / E-MAIL：npsam@npsam.com

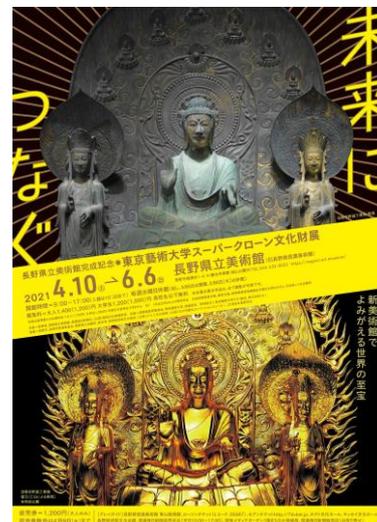
関連イベント

(1) 対談講演

- ①日 時 2021年4月18日(日) 14:00～
- ②テーマ 「法隆寺釈迦三尊像のスーパークローン文化財について」
- ③会 場 長野県立美術館 地下1階ホール
- ④講 師 深井隆 氏(東京藝術大学名誉教授)・松本透(長野県立美術館 館長)

(2) 講演

- ①日 時 2021年5月15日(土) 14:00～
- ②テーマ 「美術品の複製や復元の可能性」
- ③会 場 長野県立美術館 地下1階ホール
- ④講 師 平諭一郎 氏(東京藝術大学特任准教授)



長野県立美術館完成記念 東京藝術大学
スーパークローン文化財展 ポスター

展覧会概要

『長野県立美術館完成記念

未来につなぐ～新美術館でよみがえる世界の至宝 東京藝術大学スーパークローン文化財展』

- 会 期： 2021年4月10日(土)～6月6日(日)
- 会 場： 長野県立美術館 展示室1・2・3
- 主 催： 長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団
- 共 催： 長野県教育委員会、東京藝術大学、信越放送
- 特 別 協 力： 東京藝術大学 COI 拠点、株式会社 IKI
- 展覧会担当： 田中正史(学芸課長)、赤津将之、鈴木幸野
- 観 覧 料： 大人1,400(1,200)円 大学生1,200(1,000)円 高校生以下無料

※()内は20名様以上の団体料金

※身体障害者手帳、養育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添い1名は無料

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、イベントの開催を中止もしくは延期する場合があります。

お問い合わせ・資料リクエスト先

長野県信濃美術館(長野県立美術館) 広報・マーケティング室

TEL: 026-232-0052 / FAX: 026-232-0050 / E-MAIL: npsam@npsam.com